

## 第 10 期浜益区地域協議会（R5. 10～R7. 9）の総括

### 1. 会議の状況

#### （1）任期中の会議の開催状況

- ・令和5年度 第5回～第8回（4回開催 うち書面開催1回）
- ・令和6年度 第1回～第6回（6回開催 うち書面開催1回）
- ・令和7年度 第1回～第5回（5回開催）

**計 15回**

#### （2）議論されてきた主な内容

##### ①地域自治区振興事業について

継続：区民カレンダー製作事業、浜益区水産物普及プロジェクト

- ②浜益区地域おこし協力隊の募集（R6年度及びR8年度募集）について
- ③R5. 10. 16 諮問「地域の今後のあり方について」の検討  
区民説明会（R6. 2. 1／R6. 3. 28）実施
- ④地域協議会に代わる新たな組織の検討（R7. 3. 24 提言書提出）
- ⑤浜益の交通事業について
- ⑥火葬場の統合について
- ⑦庁舎以北の交通体系について
- ⑧新たな組織の条例案について
- ⑨石狩市過疎地域持続的発展市町村計画について

### 2. 第 10 期委員による振り返り

- ・地域自治区終了後の地域自治をどう進めるかの話し合い、地域のあり方についての意見交換をしたことにより、課題が明確になった。
- ・市の担当者からの説明はすでに方向性が決定しているものが多く、あくまで「確認」「意見はお聞きます」というスタンスのものが多かったように思う。検討内容については、可能な限り、事前の情報共有を求めたい。
- ・課題が明確になったことにより、「地域の今後の在り方について」、危機感を持ってより真剣に議論できたと考える。
- ・協議会の中でも、勉強会、検討会を実施、先進地の事例を聞き、また腹を割って話せたことにより、議論が深まったと感じている。

### 3. 今後の浜益のまちづくりに必要だと思うこと

- ・「地域住民の小さなささやき」を聞き取り、具現化するために仲間を増やすこと。
- ・交通、買い物弱者などの対策、高齢者の生活サポート事業。
- ・浜益の魅力発信のための取組をさまざまな方法で継続していくこと。

(イベントや観光スポット施設の設置など)

- ・担い手不足の解消、雇用の確保に、行政、地域協議会、地域が一丸となって協力すること。
- ・住民の思い、目的意識の共有ができる、オープンな場を作ること。
- ・誰もが熱い気持ちを持ち、まちづくりに積極的に参加すること。
- ・地域の様々な課題について、地域おこし協力隊、集落支援員の拡充など、多方面で対策を講じていくこと。

#### 4. 地域自治区振興基金の今後について

- ・区民カレンダーの継続について考えていくこと
- ・既存の事業のみならず、浜益の地域課題解決や、これからの地域づくりにつながる事業を積極的に支援していくこと。

#### 5. 第11期の地域協議会に望むこと

- ・初めに協議会委員の中で、今後のまちづくりを進めるための将来展望を共有し、共通認識をもち、議論を進めていくこと。
- ・4月からの新しい組織についても、どのような組織としてほしいか、意見を出し合い、ビジョンを共有することからスタートすること。
- ・いっぺかだれやの会、その他地域の対話の場において議論されている内容や、地域の声を聞き、浜益をどうするかを最優先で議論を進めていける中身のある会議であること。
- ・地域の皆さんに応援してもらえる会であること。

#### 6. 令和8年4月からの新しい地域協議会に望むこと

- ・第11期の地域協議会で共有されたまちづくりのビジョンを元に、浜益の今後を考えていくこと。
- ・まずは浜益の未来の幸せや、住民の声が届く組織とすること。住民が安心、安全で幸せな生活ができる地域づくりを目指す地域の人を応援する組織であること。
- ・地域住民や団体と行政の橋渡し役を担うこと。
- ・各委員の所属団体のメンバーにも情報共有し、巻き込み意見を出し合うこと。